



Contents

- ・【巻頭エッセー】
“源泉”を見出すということ…図書館長 井上郷子 ●表紙
- ・Welcome to our Library ●2～3
- ・先輩からのメッセージ～新入生の皆さんへ～ ●4
- ・2018年度ばるらんど総目次 ●5
- ・【卒論報告】
デオダ・ド・セヴラックと地域主義…横屋藍 ●6～7
- ・Information ●8

Parlando

ばるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

No.302

【巻頭エッセー】 “源泉”を見出すということ 図書館長 井上郷子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい環境で、今しかできない学生生活を送られることを願います。

ブランクーシという人の名前を聞いたことがあるでしょうか。コンスタンティン・ブランクーシは20世紀を代表する彫刻家。1876年ルーマニアのホピツァという農村に生まれ、1957年パリで没しました。創作の拠点としたパリではエリック・サティと仲良しだったといいますが、彼が生きた時代背景を何となく想像できるかもしれません。

ブランクーシの彫刻作品のフォルムは究極までにシンプル、大理石やオーク材、石膏、ブロンズなどの素材感すらも感じさせないほどです。それ故、後のミニマルアートの先駆けであったとも言われます。例えば「無限柱」シリーズ。シンプルなユニットを繰り返し用いて構成されている柱。それはどこで切っても柱。無限の柱。例えば「空間の鳥」シリーズ。鳥が鳥である本質のみが残ったようなかたち。

興味深いことに、ブランクーシは同じタイトルの作品群を長い年月をかけて作り続けています。「無限柱」は19年間、「空間の鳥」はなんと28年かけています。自分の足元に穴を掘り続けるかのようです。（「無限柱」も「空間の鳥」も空へと向かう上昇のイメージがあるにもかかわらず・・・）実際、この年月は、ブランクーシが事物の本質を捉え要素を極限まで切り詰めていくという自身の表現様式（フォルム）を探求するのに費やした時間なのではないでしょうか。そして彼はいったい、どこに、どのようにして自身の創造の源泉を見出すに至ったのでしょうか。

このことについて、同じルーマニアの宗教学者/作家、ミルチャ・エリアーデは、短いがたいそう美しいテキスト「ランクーシと神話」の中で「内面化」と「深奥への探求(または沈潜)」という2つのキーワードを用いて語っています。要約しますと、ブランクーシがパリで前衛芸術家の作品やアフリカの始源的な造形世界に出会ったことが自身の内面へと向かわせた。向かったのは子供時代の、同時に想像の世界。そこで自分のルーツであるカルパチア農民の伝統の豊かさを発見する。しかしここでルーマニアやアフリカの民俗芸術の造形世界を模倣、再現することはなく、更にずっと深奥へと赴き内面化に専念する。そして太古の造形世界を養っていた諸力、源泉を見出すことによって彼独自の始源的なフォルムを得ることに達した・・・。

ブランクーシの才能の1つは、自分が創造できると感じた形態の真の源泉をどこで探せばよいかを知っていたということでしょう。彼はその源泉を見出し、そこに秘められた様々な力を自分のものとし、長い時間をかけて現実としての彫刻作品を作り続けていったのです。

私は今年度より図書館長を務めています。学生の皆さんが音楽や芸術を広く深く考え、より楽しむことができるようになるきっかけを提供し、それらを自身で内面化し、探求し、持続させていく支えとなることのできるような図書館でありたいと思っています。

（注）「ブランクーシと神話」ミルチャ・エリアーデ著 奥山倫明訳
『迷宮の試煉 エリアーデ 自身を語る』（作品社2009年）に付録として所収
●いのうえ さとこ 本学教授（器楽表現＜創作系ピアノ＞）

Welcome to our Library!

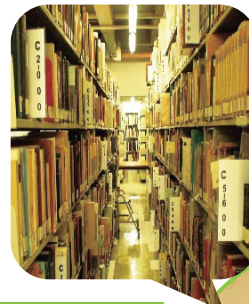
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！晴れて音大生になり、これからはじまる4年間に期待と不安でいっぱいなのではないでしょうか？新しい生活の中でほっと一息つきたい時、ぜひ図書館に来てください。皆さんがより充実した大学生活を送れるように、授業以外の時間も広くサポートしていきます。わからないことがあれば気軽に声をかけてくださいね！

図書館には何がある？

音楽と大学の授業に特化した世界有数の音楽図書館。楽譜だけで約14万点所蔵しています。図書が約14万冊、雑誌約2,600タイトルのほかに、CD約7万点、DVD約5,000点、ブルーレイ、レーザーディスクなど、AV資料も充実しています。「閉架式」といって、資料のほとんどが書庫の中に入っています。また、オンラインデータベースや配信サービスも利用することができます。ベートーヴェンの初期印刷楽譜や、江戸後期から明治初期にかけての邦楽と演劇の歴史において大変重要な竹内道敬文庫などの、特別コレクションも所蔵しています。

2F

4号館正面の階段を上り、ゲートを通って入館します。入った階が2階です。



書庫には普段は入れませんが、新入生の方は基礎ゼミでご案内します。



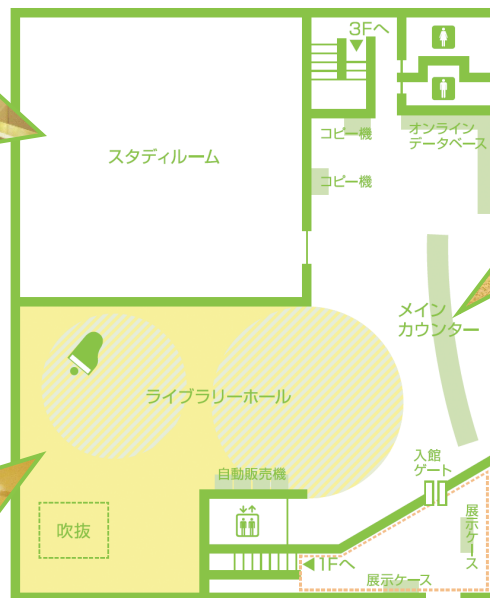
スタディルーム

シラバス本や教職・学芸員の本など学生生活に密着した図書や全集・叢書楽譜があります。PC席・学習席も。



ライブラリーホール

会話可能なエリアで、グループ学習や打ち合わせにも利用できます。蓋付きの飲み物がOKです。雑誌や新着図書・楽譜のコーナーもあります。



メインカウンター

資料の貸出・返却を行います。

資料を借りるには？

フロアにある資料はカウンターで貸出手续をしてください。書庫にある資料はOPACから「配架済み資料を出庫する」ボタンを押してカウンターで受け取ってください。



ドリンクOKエリア
※フタ付きのみ。
※食べ物禁止です。



通話OK
エリア

資料を探すには？

OPACで検索します。OPACは図書館の蔵書を検索するシステムです。たくさん使ってマスターしてください。特に楽譜は検索するコツがあります。

図書館に入るには？

必ず学生証が必要です。忘れると図書館に入れませんので、ご注意ください。

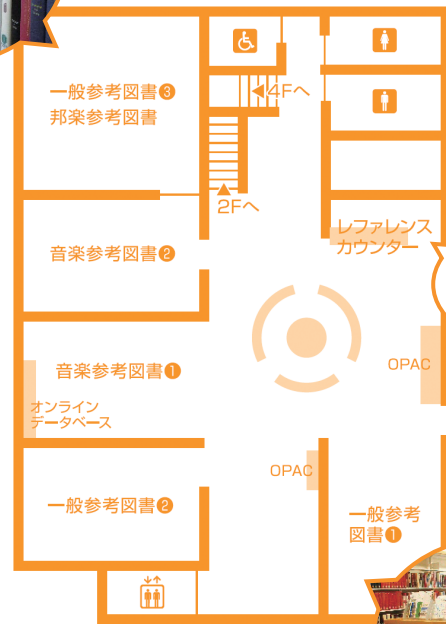


3階は参考図書フロア。予習復習やレポート作成に欠かせない辞典等が並んでいます。学習席もあり、静かに集中して学習することができます。



3F

4階はCD・DVD等のAV資料フロアです。個人視聴卓のほか、3人以上のグループで使えるグループ視聴室もあります。特別な音響設備を備えた大きな視聴室は授業やイベントも行われます。「大学院オペラ」などの学内演奏会や、「公開レッスン」、「基礎ゼミ」はデジタルアーカイブ化され(くにおんアーカイブ)、PCで視聴できます。

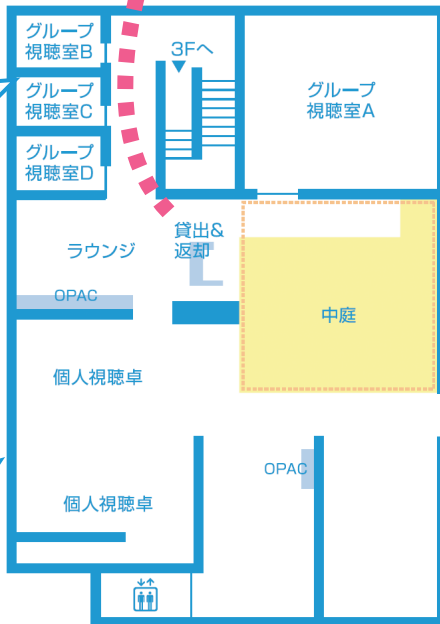


4F

AVカウンター
AV資料の貸出・返却を行います。



3部屋あるグループ視聴室は椅子や机のタイプが少しずつ異なります。



通話OK
エリア



ドリンクOKエリア
※フタ付きのみ
※食べ物禁止です。



中庭は蓋付き飲み物がOKです。一息ついたときにぜひ。



図書館の使い方応用編！

ILL(図書館間相互貸借)・・・当館にない本も、他の図書館から取り寄せて借りることができます。カウンターで手続きします。

TAC(多摩アカデミックコンソーシアム)・・・国立音楽大学、国際基督教大学、津田塾大学、東京外国語大学、東京経済大学と武蔵野美術大学の6校が加盟する大学協力機構です。加盟大学の図書館を自由に利用できます。こちらもカウンターで手続きできます。

資料が見つからない！

近くの図書館スタッフに遠慮なく声をかけてください。



ルールを守って
楽しい図書館ライフを！

飲食禁止

ペットボトルや水筒など、しっかり蓋のしるもののみ所定の場所で飲むことができます。食べ物は持ち込み禁止です。

通話禁止

まわりの人の迷惑にならないように、通話は決められた場所でしてください。

コピーは著作権法を守って

図書館資料をコピーする時は著作権法の範囲内で行います。本なら1冊の半分、楽譜は1曲の半分です。必ず複写申込書を記入してください。

また貸し禁止

自分で借りた楽譜を友達に貸すなど、資料のまた貸しは絶対にしないでください。

先輩からのメッセージ

～新入生の皆さんへ～

先輩たちだって、初めは新入生でした。「習うより慣れよ」という言葉があるように、まずは図書館に気軽に足を運んでみてくださいね。そして、何かわからない事があったら図書館スタッフにどンドン声をかけてください。お待ちしております！

「次はこの曲をやりましょうか」先生から新しい曲を頂く度に、どんな曲なんだろう、早く楽譜がみたいなあどキドキワクワクした気持ちで図書館に向かい、楽譜を借りて、そのまま AV 資料室で楽譜を見ながら音源を聴く、というのが私の習慣になってしまいました。

雰囲気もよく、とっても素敵な場所なので新入生の皆さんも自分に合った図書館の使い方を見つけてみてください。とっても面白いと思いますよ！

～アドヴァンスト（声楽） H.M.～

ご入学おめでとうございます！

国立音大の図書館は本当に沢山の書籍や映像・音源資料を所蔵しています。

その中から自分にピッタリの 1 冊や 1 曲を見つけるもよし、先人たちの素晴らしい音楽に触れるもよし、静かな環境で資料を活用し自分の勉強したいことに没頭するもよしの素晴らしい施設です。

そんな図書館を是非活用してみてください！

皆さんが有意義で楽しい大学生活を送れるよう願っています！！

～院 1 年（声楽） T.M.～

ご入学おめでとうございます。くにおんの図書館は、魅力が沢山ありつい通ってしまいます。楽譜や CD などを借りることができるだけでなく、友達と映画を見たり、お茶を飲みながら友達とお喋りできるスペースがあったり…さらに、過去の演奏会や公開レッスンの録画を鑑賞できるなど、実際に音楽に触れることができることは、私にとって一番の魅力です。皆さんも是非自分なりの図書館の活用法を見つけて、楽しんでくださいね。

～ピアノ 3 年 K.K.～

静かに本を探す場所というイメージの図書館ですが、この図書館は居心地も良く、リラックスして過ごせる空間です。クラシックだけでなく、pops や映画音楽、心和む DVD も沢山揃っています。沢山活用してみてくださいね。これからの 4 年間色々なことがあると思います！楽しい大学生活を送って下さいね。

～チェロ 4 年 S.T.～



Parlando

ばるらんど

2018 総目次 298～301

表紙：山田絵未 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科3年

- 298
- 【巻頭エッセー】心の裡に築くもの…花岡千春 ●表紙
 - Welcome to our Library ●2～3
 - 【卒論報告】デジタルネットワーク時代の
新しい音楽市場戦略と聴取行動の変化…下森也実 ●4～5
 - 館長室へようこそ⑳…古川聡 / 雑誌の部屋⑱ ●6
 - 2017年度ばるらんど総目次 ●7
 - Information ●8
- 299
- 【巻頭エッセー】図書館は知識“浴”の場…菊池幸夫 ●表紙
 - Library Data 2017 ●2～5
 - 館長室へようこそ㉑…古川聡 / 雑誌の部屋⑳ ●6
 - 【私のおすすめ】…小畑有史 安藤友里恵 ●7
 - Information ●8
- 300
- 【巻頭エッセー】『明日に向かって』…図書館長 古川聡 ●表紙
 - 【Parlando Interview】“ジョイ”を共有する音楽
小曾根真先生 きき手・菅野里奈 ●2～5
 - 【300号記念特集】
先生のエッセー…足本憲治 江澤聖子 沼口隆 福井敬 ●6～7
学生のエッセー…伊藤太郎 北沢彩乃 土屋憲靖 三宅彩葉 ●8～9
 - 今までの表紙から～『ばるらんど』のあゆみ～ ●10～11
 - Information ●12
- 301
- 【巻頭エッセー】振り返って、いま、思うこと…小泉恵子 ●表紙
 - 【研究発表会】ゲーム音楽とは何か～発表への序章～ ●2～3
 - 新 OPAC 活用術！…二塚恵里 ●4
 - 館長室へようこそ㉒…古川聡 /
竹内道敬文庫の錦絵が Web で見られるようになります！ ●6
 - 【私のおすすめ】…樋口鉄平 阿部知花 ●7
 - Information ●8

【卒論報告】

デオダ・ド・セヴラックと地域主義 後期作品におけるカタルーニャ的要素の使用

横屋 藍 (音楽文化教育学科音楽文化教育専攻音楽情報専修 平成30年度卒業)

作曲家デオダ・ド・セヴラックDéodat de Séverac(1872~1921)の「地域主義」という思想について、その背景や作品への反映を扱った。



セヴラックのポートレート

セヴラックって？

デオダ・ド・セヴラックは、ドビュッシーやラヴェルと同時代のフランスの作曲家だ。パリのスコラ・カントルムでピアノや作曲を学んだが、その生涯の大半を出身地である南仏で過ごした。彼が生きた時代のフランスは中央集権化が進み、パリがすべての中心地。音楽も例外ではなく、作曲家として名を残したいのであればパリで受容されることが絶対条件だった。そのような時代において、セヴラックは各地方の豊かな伝統から創作は行われるべきだと主張し、自らパリを離れることで、音楽における「地域主義」の推進を目指した。



セヴラックの生家

セヴラックの「地域主義」

セヴラックはスコラ・カントルムを卒業する際に、卒業論文『中央集権と小さな礼拝堂』を提出している。この論文の中で主張されているのが、「地域主義」という思想だ。中央集権は文化の多様性を無視している、という考えを持っていた地域主義者たちは、「パリはフランスの一部にしかすぎない」として、中央集権と対立する立場を取っていた。このリーダー的存在といえるのが、フランスの詩人であるフレデリック・ミストラルだ。彼はプロヴァンス語での創作だけでなく、「フェリブリージュ」という文芸団体の創設メンバーとしても知られている。セヴラックは一地方言語の復興に力を注いだミストラルを理想の芸術家とし、その思想を音楽へ応用することを目標とした。

当時のフランスは中央集権化が過度に進み、芸術家たちも出自に関わらずパリで活動することが求められていた。そのため、その頃に書かれた作品の大半がパリの聴衆から良い評価を得ることを目的としており、作曲家たちはそれぞれの地方によって育まれる個性を捨てなくてはならなかった。セヴラックはそのような状況を卒業論文で痛烈に批判しており、各地方特有の民謡や民俗舞踊を学ぶ新しい音楽教育の場を作ることで、当時のパリ中心の音楽状況を脱することができると提案している。セヴラックは生涯を通して地方の音楽学校の創設の夢を抱き続け、その意思は彼のピアノの先生であり、彼の作品の初演を多数行ったブランシュ・セルヴァに引き継がれた。

「カタルーニャ文化圏」とは

約11年通ったスコラ・カントルムを卒業したセヴラックは、すぐに出身地である南仏に帰った。しかし彼が晩年を過ごしたのは、同じ南仏でありながら出身地とは異なる文化圏にあるセレという町である。「カタルーニャ文化圏」に属するこの地で、セヴラックはカタルーニャの文化に触発された作品を多く残した。

カタルーニャといえば多くの人はスペインを思い浮かべるだろうが、広義ではフランスやイタリアの一部を含む大きな文化圏である。カタルーニャは「スペイン王位継承戦争」や「スペイン内戦」など、長く弾圧に苦しんできた。自治政府や議会の廃止、カタルーニャ語の公的な使用の禁止、さらには伝統芸能までもが禁止された歴史を持っている。そのような中において、19世紀半ばに芸術家や著述家による「ラナシェンサ」が起こった。これは政治的な独立にエネルギーを費やすよりも、音楽や文化へとそのエネルギー



を向けることで文化的な独立を目指した運動である。

不特定の人数の踊り手が男女交互に高く上げた手をつなぎ、内側を向いて輪になって踊る伝統的な舞踏「サルダナ」や、その伴奏を担当する「コブラ」というカタルーニャのアンサンブル集団も、19世紀に入ってから音楽家ペップ・バントウラという人物によって新たに作りなおされたものの一つだ。セヴラックはセレに移住してから数カ月後に初めてコブラを聴き、その響きに感銘を受け、作品に取り入れていった。

ある夜、人生で初めてコブラを聴いた。その日のことは昨日のことに思いつける。コブラはそれまで私が知らなかった音色、喜び、情熱を持っている。ヴァレスピールは私の夢の地だ！この夢は《エリオガバル》の作曲によってついに実現された。

Waters (2008), p.204.

カタルーニャ的要素を持つ作品

この《エリオガバル》というのは、セヴラックの二作目のオペラ作品である。紀元後3世紀ごろのローマ帝国が舞台のこの作品は、南仏のベジエにある野外劇場での上演のために作られた。野外作品を書くことをパリ時代の先生や友人には強く反対されていたが、南仏の太陽を浴びて育ったセヴラックにとっては長年抱いてきた夢であり、ここにも彼の地域主義の思想が表れている。

コブラの音色は当時のパリの人々にとって「異質な」響きだったため、大きな反響を呼んだ。ベジエでの初演の後に行われたパリでの公演は多くの作曲家が観劇し、ガブリエル・フォーレからも絶賛された。この作品でセヴラックは地方の音楽要素の特徴を際立たせ、パリで日々消費される音楽との明確な違いを提示することに成功したと言えるだろう。異質な音をそのままに使用する姿勢からは、地域主義者として「真正」であることを探求した誠実さをうかがうことができる。

彼の代表曲といえるピアノ組曲《セルダーニャ》も、カタルーニャの要素を持つ作品だ。この作品は、カタルーニャ文化圏の一方地方であるセルダーニャをセヴラック自身が旅した経験をもとに書かれた。セルダーニャはフランス領とスペイン領にまたがっている地域である。構成曲5曲のうち4曲のタイトルにはセルダーニャ地方の地名が使われ、「タルタナ」というカタルーニャ地方の伝統的な二輪馬車も曲名に登場するなど、使用されている言葉からもカタルーニャを意識していることがわかる。

セヴラックって…

出身地とは異なるカタルーニャ地域に魅了された理由の一つには、ラナシェンサにおいて地域特有の文化が守られ、作られた過程を、地方の文化の再生が可能であるという成功例として捉えていたことが考えられる。中央集権によって失われていく各地方の文化を保護する必要性を感じていたからこそ、カタルーニャ特有の要素を作品に用いたのだろう。地位や名声を捨て、自ら「非中央集権化」し、南仏の太陽からインスピレーションを受け創作を行ったセヴラックは、真の地域主義者だと言えるのではないだろうか。



サン＝フェリックス＝ロラゲ

<おすすめの入門文献・音源>

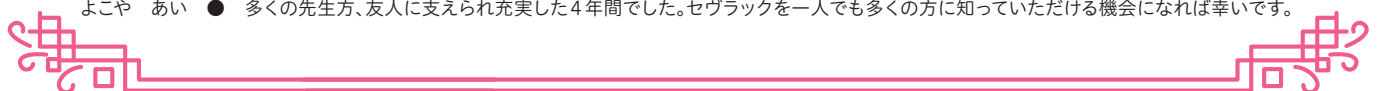
- * 椎名亮輔「デオダ・ド・セヴラック 南仏の風、郷愁の音画」アルテスパブリッシング、2011年
請求記号●J120-874
- * 館野泉“Piano works of Déodat de Séverac” Finlandia Records, [2001]
請求記号●XD46740

<主要参考文献>

- * 椎名亮輔「デオダ・ド・セヴラックの論文『中央集権と音楽の党派性』解題と翻訳」『同志社女子大学学術研究年報 60』pp.91-105, 2009年●CiNii
- * 田澤耕『カタルーニャを知る事典』平凡社、2013年
請求記号●J126-282
- * Waters, Robert. Déodat de Séverac: Musical Identity in Fin de Siècle France. Hampshire/ENG: Ashgate Publishing, 2008.
請求記号●J114-409
- Musk, Andrea. “Aspects of Regionalism in French Music during the Third Republic: the Schola Cantorum, d’Indy, Séverac and Canteloube.” PhD Dissertation, Oxford University, 1999.

セヴラックのポートレート
椎名亮輔『デオダ・ド・セヴラック 南仏の風、郷愁の音画』アルテスパブリッシング p.4

よこや あい ● 多くの先生方、友人に支えられ充実した4年間でした。セヴラックを一人でも多くの方に知っていただける機会になれば幸いです。



Information

基礎ゼミ体験実習・図書館

新入生のための基礎ゼミ体験実習が、学科別で4月6日(土)・8日(月)に行われます。この期間は、全館を使つての実習となりますので、図書館はご利用できません。

住所変更は？

春は引越しの季節ですね。住所が変わった方は、図書館で住所変更の手続きをお願いします。

TAC(多摩アカデミックコンソーシアム)を利用しよう

OPACをみても見つからない資料がある時は、あきらめないで、TAC加盟館(国際基督教大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、東京外国語大学、津田塾大学)の図書館資料をTACOPACで調べましょう。所蔵していればTLLサービス(図書館間貸出)で取り寄せてきます。通常、申込から1週間位で資料が到着します。詳細はメインカウンターでお尋ねください。

卒業生の方へ

図書館は卒業してからも登録すれば利用できます。利用の種類や方法については、「図書館ガイド:卒業生利用者用」や図書館ホームページをご覧ください。詳しくはメインカウンターでお尋ねください。

督促・予約メール確認のお願い

学内者(学生、大学院生、教職員)には、学内メールアドレス宛に、督促状・予約状を送信しています。返却期限を過ぎた資料を、次の利用者が予約して待っているかもしれません。毎日必ず、学内メールアドレスを確認してください。

今年の表紙は？

302号から表紙絵が変わりました。武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科4年 高柳涼香さんの作品です。

作品についてのコメント

普段は武蔵野美術大学で舞台美術を学んでいます。このイラストはどんな人にも気軽に手に取ってもらえたらと考え、ゆる～いラインを意識して描きました。たくさんの人にばるらんと、本のお会いがあることを願っています。

図書館活動報告

<イベント>

ライブラリー・レクチャー

図書館に所蔵されたセノオ楽譜を音にする
～大正から昭和時代に遺されたピース譜から～

12月12日(水) 18:00～19:00

竹久夢二の表紙絵でも有名なセノオ楽譜は、1915年設立のセノオ楽譜出版から出版されたピース物といわれる楽譜で、多くの曲が現在も親しまれています。当館はセノオ楽譜を約280点所蔵しています。当日は山田耕筰などの楽曲を先生方による解説と演奏でご紹介しました。

<展示・企画棚>

音楽情報専修、音楽学コース、音楽情報社会コース学生展示
『GAME MUSIC』

11月7日(水)～12月17日(月)

コンピュータ・ゲームで音楽が流れるようになったのは1970年代後半のこと。単純な電子音に始まったゲーム音楽は、今やゲームという文脈を離れ、音楽としての価値が高く評価されています。私たちにとってゲーム音楽とは、その基にあるものとは、何か。この展示では、関連資料とともに、ゲーム機や内部の部品等もご紹介しました。

ライブラリー・レクチャー関連展示『セノオ楽譜特集』

12月19日(水)～3月30日(土)

12月12日に行われたライブラリー・レクチャーに関連して、当日の演奏曲目の楽譜と、関連の雑誌を展示しました。

<大学イベント対応@図書館>

12月23日(日)～26日(水) 冬期受験準備講習会

図書館2階ライブラリーホールに受験生のための情報コーナーを設置しました。楽譜展示や視聴スペースを設け、受験生や保護者の方の見学にも対応しました。

<ガイダンス>

1月31日(木) 古川聡先生ゼミガイダンス

(専門ゼミⅠ 幼児音楽教育 3年)

■ 表紙：高柳涼香 武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科4年

■ 発行：国立音楽大学附属図書館

■ 編集担当：高橋京子・宮部真砂子

■ 国立音楽大学附属図書館

<https://www.lib.kunitachi.ac.jp>

E-mail info_lib@kunitachi.ac.jp